



令和4年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会
兼 令和4年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会北海道予選会開催要項

主催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道バレーボール協会
 後援 北海道教育庁才ホーツク教育局・北見市・北見市教育委員会・公益財団法人北見市スポーツ協会
 主管 北海道高等学校体育連盟バレーボール専門部・北海道高等学校体育連盟才ホーツク支部・北見・網走・紋別地区バレーボール協会
 当番校 北海道北見北斗高等学校 (〒090-0035 北見市北斗町1丁目1番 TEL 0157-24-3195)

1	期	日	令和4年6月14日(火)～6月17日(金)
		6月14日(火)	13:00 審判委員研修会 北海道立北見体育センター 講堂 13:30 専門委員会議 北海道立北見体育センター 研修室 I・II 15:00 監督・主将会議 北海道立北見体育センター メインアリーナ 開 会 式 北海道立北見体育センター メインアリーナ
		6月15日(水)	9:00 競 技 開 始 (予 選 グ ル ー プ 戦) [男 子] 北海道立北見体育センター (A・Bコート) サンライフ北見 (Cコート) [女 子] 北見市立体育センター (D・Eコート) 北海道北見北斗高等学校体育館 (F・Gコート) 18:30 (予定) 抽選会 北海道立北見体育センター 講堂
		6月16日(木)	9:30 競 技 開 始 (ブ ロ ッ ク 決 勝 ト ー ナ メ ン ト 戦) [男 子] 北海道立北見体育センター (A・Bコート) サンライフ北見 (Cコート) [女 子] 北見市立体育センター (D・Eコート) 北海道北見北斗高等学校体育館 (F・Gコート)
		6月17日(金)	9:00 競 技 開 始 (決 勝 リ ー グ 戦) [男 子] 北海道立北見体育センター (Aコート) [女 子] 北海道立北見体育センター (Bコート) 競技終了後 閉 会 式 北海道立北見体育センター メインアリーナ

2	会 場	北海道立北見体育センター (A・Bコート) 北見市東陵町27 TEL 0157-23-3131 サンライフ北見 (Cコート) 北見市東三輪5丁目1-16 TEL 0157-23-1433 北見市立体育センター (D・Eコート) 北見市東陵町27 TEL 0157-31-2333 北海道北見北斗高等学校体育館 (F・Gコート) 北見市北斗町1丁目1番 TEL 0157-24-3195
---	-----	---

3 競技規則 2022年度 公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

4 参加資格

- (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加の資格を得た者。(全道高校体育大会基準による)
- (2) 北海道バレーボール協会登録チーム・公益財団法人日本バレーボール協会個人登録選手であること。
- (3) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意志のある者。
- (4) 平成15年4月2日以降に生まれた者。ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (6) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長が支障ないと判断した者とする。
- (7) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(6)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ (4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
 - ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - エ 部員不足による合同チームの大会参加を認める。
 [大会参加資格の別途規定]
 1 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。
 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められる。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- (8) 資格違反は、発覚時に失格とする。また発覚が試合終了後は、専門部で審議の上、処置を決定する。

5 引率・監督

- (1) 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。
 なお、引率責任者と監督が同一の場合は教員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条に示された者)も可とする。
- (2) 監督・コーチが校長の認める外部指導者の場合は、道高体連災害補償制度に必ず加入することを条件とする。また高体連バレーボール専門部長に文書をもって4月末日までに届け出ること。
- (3) 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

6 チーム構成

- (1) チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とする。但し選手登録は18名以内とする。
- (2) 課程（全日制課程・定時制課程・通信制課程）ごとの生徒によるチームであること。
- (3) マネージャーは当該校の教職員または生徒でなければならない。
- (4) 参加申込書に記載された引率責任者、監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は監督・主将会議の際、最終エントリーにより届け出なければならない。それ以降は認めない。ただし、選手の変更があっても番号の変更は認めない。
- (5) 構成メンバー以外の登録選手は、ボールキーパー、クイックモッパーとして参加できる。（ユニフォーム以外の統一した服装）
- (6) 14名の選手の内、外国人留学生は2名までエントリーできるが、コートへはその内1名に限る。（北海道高等学校体育連盟及び高体連バレーボール専門部長に文書をもって4月末日まで届け出、承認を得た者であること）

7 代表チーム数

- (1) 男子支部総数を19、女子支部総数を26とし、専門部の裁量を男女とも3とする。
平成23～25年の全道大会出場チーム総数の平均を予選出場総数に対する支部予選出場割合により各支部に割り当て、次に専門部の裁量により、直近の過去3年間（平成30年、令和元年、令和3年）の出場校数に基づいて割合を計算し、男女3チームずつを選出する。
上記の手順により、令和4年度の各支部の代表校を次の通りとする。

	函館	室蘭	小樽	札幌	空知	旭川	名寄	オホーツク	十勝	釧根
男子	2	2	1	8	1	2	1	2	1	2
女子	3	3	2	8	2	3	2	2	2	2

- (2) 開催支部はさらに1チーム出場可とする。（原則として当番校とする）
- (3) 全国大会には、男子1チーム、女子2チームを代表とする。

8 競技方法

- (1) 1日目は4～3チーム1グループによる予選グループ戦、2日目は4ブロック決勝トーナメント戦、最終日は決勝リーグ戦とする。
- (2) 大会使用球は、男子ミカサ[V300W]、女子モルテン[V5M500O]とする。

9 組み合わせ

- (1) 予選グループ戦事前抽選は道高体連バレーボール専門部が行う。
（令和4年6月3日（金）14:00 北海道北見北斗高等学校視聴覚教室）
- (2) ブロック決勝トーナメント戦は、直接抽選とするが、シード、地区シードを行う。
- (3) シードはシード委員会による。シード委員は、委員長、副委員長、委員若干名として、道専門部指名とする。

10 参加申込

- (1) 大会要項・大会参加申込様式のダウンロード
北海道北見北斗高等学校HP <http://www.kitamihokuto.hokkaido-c.ed.jp>
全日制のページ→部活動をクリックする。
- (2) 申込方法 「参加申込書」、「JVA MRSチーム加入選手一覧（PDF）」、「2022北海道高等学校体育大会バレーボール競技大会参加チーム確認表」の3つのデータを下記のメールアドレスへ添付して送信すること。
送信先：takahashi.kazuya2@hokkaido-c.ed.jp 担当：高橋和哉（北見北斗）
- (3) 申込期限 令和4年6月1日（水）

11 参加料

参加申込書にある記載選手人数分（1名1,500円、マネージャーは含まない）を下記の銀行口座に振り込むこと。なお、入金後の記帳にはチーム名が分かるように手続きをすること。（例 北見北斗女子）
[参加料振込先] 北海道銀行 北見支店 普通預金 口座番号1410368
高体連バレーボール全道大会 代表 元村 治郎

12 表彰

- (1) チーム表彰 優勝、準優勝、3位、4位
- (2) 個人表彰 ベスト14（男女）
- (3) 優勝監督賞

13 諸会議

- (1) 予選グループ戦事前抽選会 令和4年6月3日（金）14:00 北海道北見北斗高等学校 視聴覚教室
- (2) 北海道高体連バレーボール専門委員会 令和4年6月14日（火）13:30 北海道立北見体育センター 研修室Ⅰ・Ⅱ
- (3) ブロック決勝トーナメント戦抽選会 令和4年6月15日（水）18:30 予定 北海道立北見体育センター 講堂

14 その他

- (1) 胸章については監督は㊦、コーチは㊧、マネージャーは㊨、チームキャプテンは胸部の番号の下に8×2cmのマークを付けなければならない。
- (2) 競技者番号は1～18とし、胸部の高さは最小限15cm、背部の高さは最小限20cmのものを用い、明瞭で区別できるように、見やすく身体中央部に付ける。
- (3) チームは色の異なる2種類のユニフォームを用意しなければならない。
- (4) 練習のための外運動靴と内運動靴を区別して持参すること。
- (5) 予選グループ戦・ブロック決勝トーナメント戦のスコアラー1名・アシスタントスコアラ―2名・ラインジャッジ4名・点示2名・ボール係2名の計11名は参加チームにおいて行うこととする。（決勝リーグ戦は除く）
- (6) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツ、サンダル、スリッパでのベンチ入りはできない。マネージャーが生徒の場合は、制服または選手ウエアと同じジャージが望ましい。
- (7) ユニフォームは、競技規則通り統一されなければならない。（ソックスを含む）また、踝が完全に隠れるソックスを着用する。
- (8) 今大会の男女ベスト4のチームを第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦の推薦とする。
- (9) 今大会の優勝チームを第16回天皇杯・皇后杯全日本6人制バレーボール選手権北海道ブロックラウンドに推薦する。